

令和5年度 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月31日

(放課後等デイサービス)
事業所名 こども発達支援センターそらいろ

職員数:6 回収数:6 割合:100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善内容	工夫している点、改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	17%	83%	0%		国の指定基準を満たしたスペースを確保しています。児童に合った机、椅子の提供が出来るように努めていきます。
	②	職員の配置数は適切である	33%	67%	0%		国の職員配置基準を満たしておりますが、今まで以上の適切な配置を目指していきます。
	③	事業所の設置基準について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	83%	17%	0%		事業所内で段差がある場所は、必ず職員がつくなどして、危険がないように対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	67%	0%		職員の参画を目指しておりますが、全職員が参画できていない業務もありますので、改善を行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	33%	67%	0%		ご家族の意向を確認し、業務改善に努めていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%		法人のホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33%	33%	33%		第3者による外部評価を求めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17%	67%	17%		法人内での研修の実施回数を増やし、外部研修の情報も提供するなどして、研修の機会の確保を目指し全員参画に努めていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%		保護者からの聞き取り内容を多面的に分析し、保護者や、ご本人のニーズに沿った計画を作成していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	33%	17%		個別支援計画に反映されるアセスメントツールを用いています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	33%	67%	0%		毎月のプログラムは、職員が参画し、立案していますが、参画に不十分な点について検討していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	0%		季節に応じた制作課題や、戸外活動を取り入れています。発達段階を考慮し、プログラムを工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0%	83%	17%	長期休暇の支援は検討事項となっている。	利用者のニーズに応じた支援を検討していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%		子供達の状況を考え、何が必要かを考慮し、計画を立案しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	0%	役割分担等詳細に打合せをしていく事が必要と思う。	毎朝ミーティングを実施し、その日の活動内容について周知しています。送迎等で不在の職員に対しては、口頭やノート等で共有し詳細の周知徹底を図っていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33%	50%	17%	勤務上、打合せは出来ない。後日出るようになっている。	支援終了後に、打ち合わせの時間の確保が難しいことがあります。記録や翌日のミーティングで情報共有をしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%	0%		日々の記録を振り返る事で、支援内容の改善などに反映していけるように努めます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善内容	工夫している点、改善目標
	⑱ 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		6ヶ月ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っていきます。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	67%	33%	0%		ガイドラインの内容に沿って、日々の支援を行うように心がけています。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	17%	17%		児童発達支援管理責任者や相談支援責任者が参加しております。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%	0%		送迎時に利用児の様子を伺い、情報共有をしています。また、保護者から下校時間や年間行事などの情報共有を、適宜行っています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	67%	17%	保護者を通して確認が必要。	てんかんなどの医療的ケアが必要なお子さんは、保護者を通して医師からの対応を確認していますが、再度見直し、確認していきます。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	17%	17%		保護者を通して情報共有を行っています。必要に応じて、保護者の了承を得て直接連絡をし、相互協力に努めています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	33%	17%		情報の提供を求められたことは少ないですが、提供する準備は今後もしていきます。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	17%	33%		センターからの助言や研修を受ける機会を、今まで以上に作れるように努力していきます。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%		交流会等の必要性を相互で確認し、検討していくマス。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%		積極的に参加し、情報共有や連携に努めています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%	0%		連絡ノートの活用や、送迎時の保護者とのやりとりなどで、お子さんの状況の共通理解に努めています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	33%	67%	今後、実施していく方向であると聞いている。	保護者向けの企画を考え、保護者に対して情報を発信できるように努めていきます。
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%		保護者が当事業所と契約をされるときに、運営規定、支援の内容、利用者負担額について、丁寧に説明することを心がけています。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%		保護者からの相談には、必ず応えるようにしています。その場で答えられない内容については、当事業所の統括施設長に確認し、後日お応えるようにしています。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	17%	83%	今後、実施する方向であると聞いている。年に1回出来ると良いと思う。又はズーム等で出来れば。	保護者会の実施に向けて検討・計画をしていきます。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	33%	0%		苦情受付の体制は整備されています。保護者の疑問や要望について、丁寧に対応することで、保護者の理解を得るように努力しています。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%		活動の様子などわかりやすく、見て頂けるように努めていきます。
	㉕ 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%		個人情報の取り扱いには、細心の注意を払い、徹底していきます。
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%		子供達に対しては写真やサインなど、目で分かる情報を補いながら、分かりやすく伝えるようにしています。保護者に対しては、表現に十分注意していきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善内容	工夫している点、改善目標
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	50%	33%		地域に開かれた地域事業運営になるように努めてまいります。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	0%	安全対策としてよりそれぞれ必須である。見直しが必要。	改訂に向けて、現在見直し作成を行っています。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	訓練の内容について見直しは必要。	訓練の必要性を再認識し、実施をしていきます。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83%	17%	0%	周知徹底、適切な対応の為しっかり研修をし、理解を深めていきたい。	全職員が参加し研修をし対応していきます。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	17%	50%	33%	必須項目、知識を得て見直しをし、実施する方向である。	やむを得ない事由の対応は、保護者に説明をして理解を頂くように努めていきます。
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	33%	17%		保護者を通じ、アレルギーの有無や対応についてお伺いすることで、対応していきます。職員間での情報共有を図ります。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%		職員間で周知することを徹底し、注意喚起に努めていきます。